

陣内秀信・新井勇治 編

# イスラーム世界の 都市空間

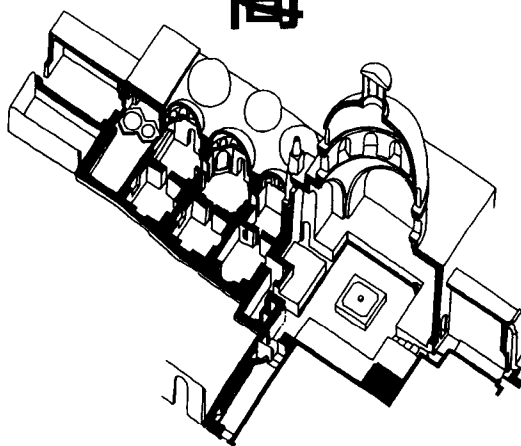


法政大学出版局

陣内秀信・新井勇治編

# イスラーム世界の都市空間

法政大学出版局





イスラーム世界の都市空間

2002 年 10 月 30 日 初版第 1 刷発行

編 者 陣内秀信・新井勇治

発行所 財団法人 法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7

電話 03-5214-5540／振替 00160-6-95814

印刷 平文社

製本 鈴木製本所

© 2002 by H. Jinnai, Y. Arai

ISBN4-588-78605-9

Printed in Japan

## 編者略歴

### ■ 陣内秀信 (じんない ひでのぶ)

1947年福岡県生まれ。1973年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1980年東京大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学(1973~75年)、ユネスコのローマ・センターで研修(1976年)。歴史の層が重なったイタリアの都市を解説する研究方法を学び、ヴェネツィアや南イタリア都市でフィールド研究を行なう。同時に、都市再生の方法を研究する。東京大学工学部助手を経て、現在、法政大学工学部教授。博士(工学)。パレルモ大学契約教授(1986年)、トレント大学契約教授(1995年)。サントリー学芸賞、日刊工業新聞技術・科学図書文化賞優秀賞、建築史学会賞、地中海学会賞。

#### \*現在の研究テーマ

南イタリア、アンダルシアの都市に関するフィールド調査を継続し、イスラーム世界を含む地中海都市の特質を描く研究に取り組んでいる。同時に、ヴェネツィア、アマルフィ、ジェノヴァ、ビサの海洋都市の比較研究を進めている。

#### \*著書・研究論文

『ヴェネツィア庶民の生活空間—16世紀を中心として』『社会史研究』3号、『ヴェネツィア—都市のコンテクストを読む』鹿島出版会、『東京の空間人類学』筑摩書房、『都市を読む\*イタリア』法政大学出版局、『都市と人間』岩波書店、『東京』文藝春秋、『ヴェネツィア—水上の迷宮都市』講談社、『ヴェネツィア—光と陰の迷宮案内』NHK出版、『南イタリアへ!』講談社、『イタリア—小さなまちの底力』講談社、『水辺から都市を読む—舟運で栄えた港町』(共編著)法政大学出版局、『シチリア—〈南〉の再発見』淡文社、ほか。

### ■ 新井勇治 (あらい ゆうじ)

1965年東京都生まれ。1993年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。1999年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻博士課程単位取得退学。講談社の野間アジア・アフリカ奨学金留学生(1993~96年)として、シリアのダマスクス大学建築学部、フランス・アラブ研究所(Institut Français d'Etudes Arabes de Damas)にて、ダマスクスの旧市街の都市空間、伝統的住宅の研究を行なう。日本学術振興会特別研究員CD(法政大学大学院工学研究科に所属)、同PD(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻に所属、その後東京大学空間情報科学研究センターに所属)を経て、現在、国士舘大学イラク古代文化研究所研究員、ならびに工学院大学専門学校講師。

#### \*現在の研究テーマ

シリア、トルコ、モロッコ、チュニジアなど地中海に面する中東地域を中心に、旧市街(メディナ)の都市構造やイスラーム建築の形態、そして伝統的な住宅の構造について、その使われ方や住まい方など、人と建築の関係、生活空間などに着目しながら考察・研究を行なっている。

#### \*著書・研究論文

『ダマスクス旧市街における街区の構成に関する考察』『民俗建築』第111号、『アラブ・イスラーム都市の構成と住宅について』『民俗建築』第113号、『PROCESS: Architecture No. 93 トルコ都市巡礼』(共著)、『マラケシュ物語』『SD』1991年4月号(共著)、『フェズ物語』『SPAZIO』43号(共著)、『季刊 iichiko No. 26 ダマスクスの文化学』(共著)、『いまに生きる都市』『at』1992年5月号(共著)、『トルコのキャラバン都市/ギョイヌック』『SD』2000年4月号(共著)、『ギョイヌック』『実測術』学術出版社、ほか。

## 執筆者・執筆協力者略歴

### 【執筆者略歴】

#### ■ 山田幸正（やまだ ゆきまさ）

1954年東京都生まれ。1979年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。国際協力事業団青年海外協力隊員として、モロッコ王国フェズ市に派遣（1983～85年）。メディナを中心にフェズ市内の建築行政にたずさわる。エジプト・カイロの日本学術振興会海外研究連絡センター派遣研究員、およびカイロ・アメリカン大学客員研究員となる（1994～95年）。カイロの旧市街に遺存するワカーラ・ラプアなどを対象に調査・研究を行なう。現在、東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻・助教授。博士（工学）。

#### \* 現在の研究テーマ

エジプト、トルコ、レバノンなどの地域を対象に、中世マムルーク朝期から近世オスマン朝期の都市建築遺構について、建築様式史的あるいは都市史的な観点から分析・考察している。

#### \* 著書・研究論文

「モロッコ・フェズにおける都市型隊商施設（フンドック）の建築類型と商業的機能について」『日本建築学会計画系論文集』第482号、「エジプト・カイロにおける都市型隊商施設（ワカーラ）の建築的実態と歴史的变化について」『日本建築学会計画系論文集』第489号、『図説世界建築史 6 イスラム建築』（翻訳）本の友社、『アジア読本・アラブ』（共著）河出書房新社、『銭湯へ行こう・イスラム編』（共著）TOTO出版、ほか。

#### ■ 深見奈緒子（ふかみ なおこ）

1956年群馬県生まれ。1981年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。現在、東京大学東洋文化研究所、ならびに横浜国立大学大学院工学研究科において非

常勤講師を勤める。博士（工学）。

#### \* 現在の研究テーマ

イランにおいてイスファハーンの都市調査、およびカーシャーンの住宅調査などを実施し、分析・考察を行なう。また、インドのイスラム建築についても研究を進めており、東京大学東洋文化研究所のホームページにインド・イスラム史跡のデータベースを公開中（<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/index.html>）。

#### \* 著書・研究論文

「イスファハーンのマドラサ調査から」『東洋文化研究所紀要』第137冊、「イスファハーンのサファヴィー朝期の住宅に関する一考察」『東洋文化研究所紀要』第139冊、「建築からみたイスラム・環インド洋世界」『講座世界史 第14巻 イスラム・環インド世界 16-18世紀』岩波書店、「イランの建築、都市、伝統的住居、市場、水施設、庭園、ズール・ハーネの項」『地球の歩き方イラン編』ダイヤモンド社、ほか。

#### ■ 谷水 潤（たにみず じゅん）

1956年埼玉県生まれ（～1999年）。1982年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。1990年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程単位取得退学。イスタンブール工科大学建築学部留学し、建築史、保存修復学を学ぶ（1986～88年）。

#### \* 著書

「トルコのイスラム建築」『PROCESS: Architecture No.27 空間と伝統 トルコの建築』、『PROCESS: Architecture No.93 トルコ都市巡礼』（共編）、『建築巡礼 17 イスタンブール』（共著）丸善株式会社

#### ■ 林佳世子（はやし かよこ）

1958年山口県生まれ。1984年お茶の水女子大学人文科学研究科修士課程修了。1988年東京大学人文科学研究科博士課程中退。東

京大学東洋文化研究所助手を経て、現在、東京外国語大学外国語学部助教授。

＊現在のテーマ

オスマン朝都市史研究。主にオスマン朝下の都市におけるワクフ制度（宗教寄進制度）の展開をテーマとしている。

＊著書・研究論文

『オスマン帝国の時代』（山川出版社）、『イスラム都市研究』（共著）東京大学出版会、「トルコ・イラン」『西アジア史』（永田雄三編）山川出版社、*Islamic Urban Studies: Historical Review and Perspectives*, Edited by Masashi Haneda and Toru Miura, (共著) Kegan Paul International, London

■ 柘 和秀（つげ かずひで）

1969年東京都生まれ。1995年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。中国政府給費留学生（1993～94年）として、上海同济大学に留学。現在、建築設計事務所勤務。

＊著書

「中国・新疆の住空間」『民俗建築』第107号、「中国シルクロード・ウイグル族の住まい 1-3」『新建築』1995年1-3月号、「カシュガル」『実測術』学術出版社

■ 今村文明（いまむら ふみあき）

1962年鹿児島県生まれ。1986年法政大学工学部建築学科卒業。青年海外協力隊員として、モロッコ・ラバトの文化省文化財管理局でメディナの修復、再生計画にたずさわる（1987～90年）。現在、建築設計事務所主宰。

＊著書

「マラケシュ物語」『SD』1991年4月号（共著）、「フェズ物語」『SPAZIO』43号（共著）、「迷宮都市モロッコを歩く」NTT出版、『ワールドミステリーツアー13 地中海編』（共著）角川書店、「マラケシュ」『実測術』学術出版社

■ 鈴木茂雄（すずき しげお）

1966年新潟県生まれ。1993年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。空間研究所（1993～2000年）を経て、現

在、studio sync（建築設計事務所）主宰。

＊著書

「マラケシュ物語」『SD』1991年4月号（共著）、「フェズ物語」『SPAZIO』43号（共著）、『季刊 iichiko No.26 ダマスクスの文化学』（共著）、「いまに生きる都市」『at』1992年5月号（共著）、「ダマスクス」『実測術』学術出版社

■ 鎌田康嗣（かまた やすし）

1968年宮城県生まれ。1991年法政大学工学部建築学科卒業。現在、東日本旅客鉄道（株）東北工事事務所開発調査室勤務。

＊著書

「フェズ物語」『SPAZIO』43号（共著）

■ 佐藤隆行（さとう たかゆき）

1972年群馬県生まれ。1999年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。現在、建築設計事務所勤務。

■ 米田圭吾（よねだ けいご）

1975年大分県生まれ。2000年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。現在、ミサワホーム（株）設計統括部勤務。

【執筆協力者略歴】

■ 豊島さおり（とよしま さおり）

1974年東京都生まれ。2001年法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了。イスタンブール工科大学建築学部都市計画学科（1998～99年）に留学し、伝統的な都市や建築の保存・再生について研究を行なう。現在、株式会社アーク・コミュニケーションズ（出版・編集）勤務。

■ 杉山俊彦（すぎやま としひこ）

1965年東京都生まれ。1991年東京工業大学総合理工学研究科社会開発工学専攻修士課程修了。現在、東日本旅客鉄道（株）建設工事部、駅・サービスG勤務。

## 執筆(分担)者・調査参加者・図版作成者一覧

### ■ なぜ今、イスラーム世界の都市か

執筆者：陣内秀信

### ■ 都市の空間構造

執筆者：陣内秀信、新井勇治

### ■ 宗教施設と都市のコンテクスト

執筆者：山田幸正

### ■ 商業施設と都市構成

執筆者：山田幸正

### ■ 住宅と住宅地

執筆者：陣内秀信

執筆協力者：新井勇治

### ■ イスラーム世界の都市空間の特質

執筆者：陣内秀信

### ■ シリア

執筆者：新井勇治

執筆協力者：陣内秀信、鈴木茂雄、鎌田康嗣  
(マアルーラに関して)、杉山俊彦  
(マアルーラに関して)

調査参加者：陣内秀信、新井勇治、鈴木茂雄、林幸稔、梁涛、柘和秀、陣内美子(1991年)、新井勇治、鎌田康嗣、杉山俊彦(1994年)、新井勇治、及川清昭、曲渕英邦、谷田明義、山下雅絵(1999年)

図版作成者：新井勇治、鈴木茂雄、林幸稔、梁涛、柘和秀、鎌田康嗣、杉山俊彦、押川考一郎、安藤正人、石原篤

### ■ チュニア

総括：陣内秀信、新井勇治

執筆分担者：米田圭吾(チュニアの都市を読む、チュニス、カイラワーン、スファックス)、佐藤隆行(スース)

調査参加者：陣内秀信、新井勇治、高村雅彦、柳瀬有志、佐藤隆行、米田圭吾(1996年)、新井勇治、佐藤敦彦(2001年)

図版作成者：佐藤隆行、米田圭吾、蔵原真弓、鈴木のり子

### ■ モロッコ

執筆分担者：陣内秀信、今村文明、新井勇治、鈴木茂雄(フェズ、マラケシュ)、鎌田

康嗣(フェズ)

調査参加者：陣内秀信、今村文明、新井勇治、鈴木茂雄、鎌田康嗣、難波匡甫(1990年)、今村文明、新井勇治、佐藤敦彦、松原康介(2001年)、今村文明、新井勇治、松原康介(2002年)

図版作成者：今村文明、新井勇治、鈴木茂雄、鎌田康嗣

### ■ トルコ

執筆分担者：陣内秀信、谷水潤、林佳世子、新井勇治(「トルコの建築と都市の特質」を陣内秀信・谷水潤が担当。「イスタンブル——東西の融合」の中で、「海と丘の風景」、「ビザンツの遺産」、「スルタンの栄華」、「欧化の舞台」を林佳世子、「オスマンの構築美」、「喧騒と迷宮・パザール」「海にひらく街」「伝統への再評価」を谷水潤が担当。イスタンブル以外の都市については、主として街並みや民家を陣内秀信・新井勇治、モスクやマドラサなどのイスラーム建築を谷水潤が担当)

執筆協力者：豊島さおり

調査参加者：陣内秀信、谷水潤、林佳世子、新井勇治、出広美穂、西河哲也(1989年)、陣内秀信、新井勇治、鶴田佳子、豊島さおり、穴戸克実、押川考一郎(1999年)  
図版作成者：新井勇治、出広美穂、豊島さおり

### ■ イラン

執筆者：深見奈緒子

図版作成者：深見奈緒子

### ■ 中国西域

執筆者：柘和秀

図版作成者：柘和秀

### ■ 用語解説

執筆者：新井勇治

### ■ あとがき

執筆者：陣内秀信、新井勇治

## 図版引用文献・初出一覧

### 〔図版引用文献〕

#### ■ 都市の空間構造

L. Benevolo, *Storia della città*, Roma-Bari, 1976

図 9, 11

F. Pasini, *Ostia antica*, Roma, 1978

図 12

N. Schoenauer, *6000 Years of Housing—The Oriental Urban House*, 1981

図 10

『イスラム事典』平凡社, 1982年

図 26

F. Fusaro, *La città islamica*, Roma-Bari, 1984

図 18

H. Gaube & E. Wirth, *Aleppo*, Wiesbaden, 1984

図 5

L. Micara, *Architettura e spazi dell'Islam—Le istituzioni collettive e la vita urbana*, Roma, 1985

図 4, 7, 88, 14, 16, 22, 23

B. S. Hakim, *Arabic Islamic Cities*, London, 1986

図 1, 24

P. Cuneo, *Storia dell'urbanistica—Il mondo islamico*, Roma-Bari, 1986

図 3, 6, 13, 15, 17, 20

#### ■ 宗教施設

K. A. C. Creswell, *The Muslim Architecture of Egypt vol. II*, Oxford, 1959

図 12, 13

H. Terrasse, *La mosquée al-Qaraouiyyin à Fes*, Paris, 1968

図 11

K. A. C. Creswell, *Early Muslim Architecture vol. I*, Oxford, 1969

図 2

K. A. C. Creswell, *Early Muslim Architecture vol. II*, Oxford, 1969

図 5

H. & R. Leacroft, *The Buildings of Early Islam*, London-Edinburgh, 1979

図 1

H. Stierlin, *Architecture de l'Islam*, Fribourg, 1979

図 4

石井昭編『世界の建築 第3巻 イスラム』学習研究社, 1983年

図 8

A. Raymond, "Cairo's Area and Population in the Early Fifteenth Century", O. Grabar ed., *Muqarnas: An Annual on Islamic Art and Architecture*, New Haven and London, 1984

図 16

日本建築学会編『東洋建築史図集』彰国社, 1995年

図 6, 7

#### ■ 商業施設

A. Raymond, *Le Caire*, Paris, 1993

図 4, 5

#### ■ 住宅と住宅地

L. Benevolo, *Storia della città*, Roma-Bari, 1976

図 5

J. Revault & B. Maury, *Palais et maisons du Caire du XIV<sup>e</sup> au XVIII<sup>e</sup> siècle III*, le Caire, 1979

図 9, 30

J. Revault, *Palais et demeures de Tunis (XVI<sup>e</sup> et XVII<sup>e</sup> siècles)*, Paris, 1980

図 7, 8, 25

N. Schoenauer, *6000 Years of Housing—The Oriental Urban House*, 1981

図 1

J. C. Garcin & J. Revault, *Palais et maisons*

du Caire—epoque mamelouke, Paris, 1982

図6

J. Warren & I. Fethi, *Traditional House in Bagdad*, Horsham, 1982

図3, 4, 15, 16

E. Guidoni, *Vicoli e cortili*, Palermo, 1982

図28

B. Maury, *Palais et maisons du Caire du XIV<sup>e</sup> au XVIII<sup>e</sup> siècle IV*, le Caire, 1983

図17, 18, 19

V. Alliaia, *Le case del paradiso*, Milano, 1983

図2

B. S. Hakim, *Arabic Islamic Cities*, London, 1986

図20

### ■ ダマスクス

フランス・アラブ・ダマスクス研究所提供  
Plan cadastral

J. Sauvaget, *Les monuments historiques de Damas*, Beyrouth, 1932

図10

H. Stierlin, *Architecture de l'Islam*, Suisse, 1979

図20

S. Cantacuzino, *Architecture in continuity—Building in the Islamic world today*, 1990

図86

### ■ チュニア

チュニス・メディナ保存局提供

図15 (原図をもとに図版作成), 16, 20

*Plan directeur de Sfax*, République Tunisienne ministère de l'équipement direction de l'aménagement du territoire, 1975

図61, 73

J. Revault, *Palais et demeures de Tunis (XVI<sup>e</sup> et XVII<sup>e</sup> siècles)*, Paris, 1980

図21-3, 21-4, 35-3, 35-4

J. Revault, *Palais et demeures de Tunis (XVIII<sup>e</sup> et XIX<sup>e</sup> siècles)*, Paris, 1983

図21-5, 35-5

B. S. Hakim, *Arabic Islamic Cities*, London, 1986

図13 (本文献の図をもとに図版作成)

J. Abdelkafi, *La medina de Tunis*, Tunis, 1989

図29 (本文献の図をもとに図版作成)

Groupe de recherches et d'études sur le proche—orient, *L'Habitat traditionnel*, le Caire, 1990

図27 (本文献の図をもとに図版作成),

58 (本文献の図をもとに図版作成)

S. Santelli, *Medinas—Traditional Architecture of Tunisia*, Tunis, 1992

図17 (本文献の図をもとに図版作成),

38 (本文献の図をもとに図版作成), 57

(本文献の図をもとに図版作成), 58 (本文献の図をもとに図版作成)

### ■ モロッコ

モロッコ文化省管財局提供

図11 (資料をもとに図版作成), 12, 14

(資料をもとに図版作成), 16, 20 (資料をもとに図版作成), 26, 51

モロッコ国土地理院発行

図42

P. Cuneo, *Storia dell'urbanistica—Il mondo islamico*, Romo-Bari, 1986

図17 (本文献の図をもとに図版作成)

### ■ トルコ

ブルサ市役所提供

図99 (原図をもとに図版作成)

サフランボル市役所提供

図106

Grelot, *Grund Serail à Constantinople*, 1680

図8

G. Goodwin, *A History of Ottoman Architecture*, London, 1971

図33, 49, 51, 54, 78, 103

M. Sozen, *Diyarbakir'da Türk mimarisi*, Istanbul, 1971

図59, 61

H. Sumner-Boyd & J. Freely, *Strolling Through Istanbul*, Istanbul, 1972

図11, 17

W. Muller-Wiener, *Bildlexikon zur Topographie Istanbul*, Tübingen, 1977

図23 (本文献の図をもとに図版作成)

A. Koyunlu, *Le plan général du grand bazaar, Istanbul*, 1978

図20

S. H. Eldem, *Turkish Houses Ottoman Period I, Istanbul*, 1984

図108

P. Cuneo, *Storia dell'urbanistica—Il mondo islamico*, Roma-Bari, 1986

図14, 71, 72

## ■ イсфаハーン

S. Rezakhan, *Map of Isfahan by Sultan Sayyed Rezakhan in 1924*, Teheran, 1984

図1

*Map No.215 Isfahan City*, Gita Shenasi 社, Teheran, 1990

図2

羽田正編著「シャルダン『イスファハーン誌』研究」『東京大学東洋文化研究所報告』, 1996年

図3

## [初出一覧]

陣内秀信「イスラム都市の空間的特質」『季刊カラム』114号, 新日本製鉄株式会社, 1989年

陣内秀信「イスラムの都市と住宅」『今後の都市型集合住宅のあり方に関する研究報告』住宅・都市整備公団, 1990年

陣内秀信・谷水潤編『PROCESS: Architecture No.93 トルコ都市巡礼』, プロセス・アーキテクチュア, 1990年

法政大学陣内研究室「マラケシュ物語——迷宮のパラダイス」『SD』4月号, 鹿島出版会, 1991年

法政大学陣内研究室「フェズ物語——モロッコ迷宮都市を読む」『SPAZIO』43号, 日本オリベッティ, 1991年

法政大学陣内研究室『季刊 iichiko No.26 特集・ダマスクスの文化学』, 日本ベリエールアートセンター, 1993年

柘和秀「中国シルクロード・ウイグル族の住まい1-3」『新建築』1-3月号, 新建築社, 1995年

目次

なぜ今、イスラーム世界の都市か 陣内秀信

都市研究の新たななる潮流

迷宮都市の再評価 2

イスラームの都市性を巡る学際的共同研究の展開 4

都市のフィールド調査 7

I 総論＊都市空間の読み方

都市の空間構造 陣内秀信・新井勇治 14

「計画された都市」と「生きられた都市」 14

都市中心部の機能と形態 16

イスラーム世界における都市の成立背景 19

古代起源の都市 23

中世に創建された都市 | 32

イスラーム社会の都市施設 | 36

スークの構成 | 37

社交とくつろぎの場 | 40

ワクフ制度 | 44

住宅地の特徴 | 45

街区の構成 | 48

城壁の外の墓地 | 49

## 宗教施設と都市のコンテキスト 山田幸正 | 53

イスラーム建築とは何か | 53

モスク建設と都市社会 | 59

モスクの形態 | 63

モスクの軸線と立地 | 72

## 商業施設と都市構成 山田幸正 | 84

イスラームと商人 | 84

伝統的都市構成と商業施設 | 89

|            |     |
|------------|-----|
| 都市間交易とその施設 | 98  |
| 都市建築とワクフ   | 110 |

|        |      |     |
|--------|------|-----|
| 住宅と住宅地 | 陣内秀信 | 115 |
|--------|------|-----|

|                 |     |
|-----------------|-----|
| はじめに            | 115 |
| 中庭型住宅が生まれる必然性   | 116 |
| 中庭型住宅の系譜        | 117 |
| 住宅に見られる共通した特徴   | 121 |
| パラダイスとしての住宅     | 123 |
| 三つの都市における住宅の比較  | 127 |
| 中庭の機能とイメージの地域比較 | 133 |
| 都市のコンテクストの中の住宅  | 139 |
| むすび             | 146 |

|                 |      |     |
|-----------------|------|-----|
| イスラーム世界の都市空間の特質 | 陣内秀信 | 149 |
|-----------------|------|-----|

|           |     |
|-----------|-----|
| 居心地のよい住空間 | 149 |
| 自然と人工     | 152 |
| 身体性       | 156 |

|          |     |
|----------|-----|
| タウンスケープ  | 157 |
| 大スケールの眺望 | 160 |
| 高密度都市化   | 163 |
| 住宅の立地    | 165 |
| むすび      | 167 |

## II 各論\*多様な都市の生活空間

シリア\*オアシスに持続する世界最古の都市文明

新井勇治

170

ダマスクス\*歴史の横層する都市

170

はじめに

170

都市の全体像

171

喧噪の商業空間

181

都市のコミュニティ施設

189

旧市街を区分する街区

202

宗教からみた都市の構造

215

水路から読む都市の空間構成

218

伝統的な中庭住宅の特徴

222

住宅の事例集

236

ダマスクス郊外の集落 ————— 276

チュニジア \*地中海性と融合した北アフリカのイスラーム地域 法政大学陣内研究室 ————— 284

チュニジアの都市を読む ————— 284

都市構造 ————— 284

住宅の構成 ————— 292

チュニス \*重囲都市 ————— 297

内と外のメディナ ————— 297

メディナ中心部 ————— 301

住宅の配置および都市空間との接合法 ————— 306

ブルタールからみた空間構成の類型分析 ————— 314

スース \*斜面都市 ————— 320

海に開く都市空間 ————— 320

空間分節と住宅 — 公的空間と私的空間 ————— 324

カイラワン \*軍営都市 ————— 330

イスラーム拡大への都市拠点 ————— 330

内陸部の商業空間 ————— 333

建築システム ————— 334

スファツクス \*集積都市 ————— 337

商業空間の増殖

337

都市と田園の住宅

340

モロッコ\*西端に花開いたイスラームの都市文化

法政大学陣内研究室

348

フェズ\*立体迷宮都市

348

フェズの全体像

348

メデイナの構造を読む

355

イスラーム建築の美

371

迷宮の中の生活空間

376

マラケシュ\*都市の喧噪と静寂

387

オアシス都市の成り立ち

387

喧噪と静寂のメデイナ

389

都市の中のミクロコスモス——迷宮空間の実測調査

397

都市の空間秩序

417

トルコ\*民族性と多様な都市空間

谷水潤・林佳世子・法政大学陣内研究室

421

トルコの建築と都市の特質——空間人類学の視点から

421

イスタンブール——東西の融合

434

黒海地方——海から谷へ——449

東部地方——高原の中世文化——462

南東部地方——シリアから吹く風——465

中部地方——アナトリアの心臓——480

北西部地方——緑の斜面都市——483

イラン \*東西交渉の結節点 深見奈緒子——496

イスファハーン \*熟成された王都——496

はじめに——496

ムスリムの宗教施設——503

世俗施設——516

伝統的な住宅——527

おわりに——536

中国西域 \*ウイグル族の住まい 柘和秀——539

カシュガル——中庭と縁台の生活空間——539

ホタン——アイワンの生活空間——544

イーニン——チャイハネの生活空間——550